出来形管理基準規格値(単位mm)

耄	番	号	工種	測定項目	規 材 個々の 測定値 (X)	10個の	測定基準	測	定	箇	所	摘	要
1章一般施	第6節一般舗装工	1-6-7 1-6-8 1-6-9	アスファルト舗装工 半たわみ舗装 排水性舗装 (下層路盤工) (面管理の場合)	基 準 高 ▽ 厚さあるいは 標高較差	±90	+50 -15	1. 3次元データによる出来形管理において「レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装編)」に基づき出来形管理要領(舗装編)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測特度・計測密度を選を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測特度として±10mmが含まれている。3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。					準拠する定等に対	要領の制
		1-6-7	アスファルト舗装工	厚さあるいは標高較差	-64	-10	4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ十直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 1. 3次元データによる出来形管理において「レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装					準拠する定等に対	要領の制 応
		1-6-8 1-6-9	半たわみ舗装 排水性舗装 (上層路盤工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合)	THE EXACT			編)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2.個々の計測値の規格値には計測精度として土10mmが含まれている。3.計測は設計幅員の内側を面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。4.厚さと、度下層の標高値とう。当該層の標高値との差で算出する。当該層の標高値との差で上す子価する場合は、直下層の目標高さ土直、下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。						
		1-6-7 1-6-8 1-6-9	アスファルト舗装工 半たわみ舗装 排水性舗装 セメント (石灰) 安定処理』 <u>(</u> 面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-64	-10	1 3次元データによる出来形管 理において「レーザースキャナー を用いた出来形管理を実施 から水は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では					準拠する定等に対	芯
		1-6-7 1-6-8 1-6-9 1-6-11	アスファルト舗装工 半たわみ舗装 排水性舗装 が-スアスファル/舗装工 (上層路盤工) 加熱アスファルト安定処 理工 (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-46	-7	1. 3次元データによる出来形管理において「レーザースキャナーを用いた出来形管理を実施・クトル・エル・アン・スートの地域を開から、その他本基準に規定する計測持法により出来形管理を実施・クトル・スートの地域を関係しては、自体の計測値の規格値には計測特度として主10mmが含まれている。3.計測は設計幅員の値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。4. 厚さは、値下層の標高値と多数を算出を対した。ない。 1. 原立は、値下層の標高値との表でに関する。 1. 原立は、値下層の標高との表でに関する。 1. 原立は、値下層の標高との表でに関する。 5. 厚さを標高較差として評価する。 5. 厚さを感感を表して評価する。 5. 厚さを感感を表して評価する。 5. 厚さを標高較差として評価する。 5. 厚さを表しまる。 5. 厚さを表しまる。 6. 原本によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに					準拠する方	

出来形管理基準規格値(単位mm)

四本// 自 生 左 中 // 所																	
看	F	号	工	種	測定項目	規 # 個々の 測定値 (X)	各 値 10個の 測定値 の平均 (X ₁₀)	測定	基	準	測	定	筃	所		摘	要
第1章一般施工	一般	1-6-7 1-6-8 1-6-9 1-6-11	アスファハ 半たわ。 排水性 が - ススフォスファ。 <u>(基層</u> (面管理	<u>み舗装</u> 生舗装 <u>小舗装工</u> <u>耐工)</u>	厚さあるいは標高較差	-26	-4	1. 3 次元デー理において「レー理において「レー理において」と乗り、 1 出った 1 生命 とう。 する計測 1 はった 2 出り 2 出	一ザ理要形 地地を整管 ・ 想の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・	スキナナー 原						準拠する事実 定等に対応	を領の制
		1-6-7 1-6-8 1-6-9 1-6-11	アスファルト舗装工 半たわみ舗装 排水性舗装 が - スプスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)		厚さあるいは 標高較差 平坦性	<u>(c</u> 2. 4mr 直読式	<u>n以下</u> C(足付 (σ)	1. 3次元デー理において「レを用いた出来形を用いた出来形態」」に基づき、する場合を、その計測方法により出る場合に適の計画として生る。3. 計測は面とし、計測は面とし、計測は直とし、計測は直とし、計測は直を原の標準がある場合に直接層の標準があれました。	一ザー要形 ・ 世理来形 ・ 他本密形 ・ 他の一般点 ・ のの一般点 ・ は、 ・ のの一般点 ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ のの ・ の	スキナナー 原	一維持工事に ることが出来		、平坦化	正の項目を省	<u> </u>	準拠する対応	
			透水性 (路盤 (面管理 透水性 (表層 (面管理	<u>鑑工)</u> の場合) 舗装工 重 工)	基 準 高 ▽ W	±50 <u>-64</u> <u>-91</u>	- <u>10</u> -15	1. 3次元デー理において「東ボント」で「東ボント」と乗り、これで、東ボント」となり、一に基づき、そのようとは、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は	一管出地東北京 ・ 世理形形 ・ 世理形形 ・ 直の に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・	スキ () 本 () 和 () 本 () 和 (準拠する多定等に対抗	